

きたひろしま

議会だより

vol.29
2012・8・1

年長みんな元気!!

北広島町内交流保育～とよひらウイング



第2回定例議会〈会期：6月13日～6月22日〉

- 平成24年度補正予算・7月臨時議会……………P2～3
- 一般質問 16議員が町政を問う……………P4～11
- 日中国交正常化40周年記念事業……………P12～13
- 意見書提出……………P14
- がんばってます！（大朝小学校・八幡小学校）……………P15
- グループ紹介……………P16

平成24年度6月補正予算 一般会計4,300万円を計上

▼ 一般会計6月補正予算の概要

- 川の保育園構築 **920万円**
- 青年就農給付金 **600万円**
- 農業体質強化基盤整備 **460万円**
- 芸北火葬場修繕 **361万円**
- 雲月山歩道改修 **350万円**
- 予備費（災害対策等） **1,213万円**



川の保育園



芸北火葬場

▼ 6月補正予算の規模等

1. 歳入・歳出規模

区分	当初予算額A	6月補正額B	累計額C	対当初予算比(C/A)
一般会計	151億5,000万円	4,300万円	151億9,300万円	100.3%
介護保険特別会計	23億4,200万円	820万円	23億5,020万円	100.4%
電気事業特別会計	4,690万円	±0	4,690万円	100.0%

2. 繰越明許費（確定） **3億4,441万円**

- ・ 一般会計 **3億4.031万円**
- ・ 農業集落排水特別会計 **410万円**

議案に対する主な質疑

課設置条例、印鑑条例の改正

問 外国人登録がなくなるが、日本人と同じ手続きになるのか。
答 在留カードで一元化し、外国人も住民基本台帳の適用を受ける。

一般会計補正予算（第1号）

問 新しい公共の場づくりのためのモデル事業（川の保育園）は来年度も実施するのか。
答 今年度、NPO、多様な地域の協力、推進体制を確立し、来年度も継続を考えるが支援は未定。

問 芸北の火葬場修繕は地元要望を十分組み入れているか。
答 振興協議会からの提言、要望にそって実施するが、今後検証が必要。

問 日中国交正常化40周年記念「広島神楽中国公演」の町負担200万円はどこから支出するのか。
答 予備費で対応する。

問 予備費が1213万円増額になっているが、内訳は。
答 今後の災害等に3000万円程度が必要であり増額する。清算はしていない。

問 危険物とは何か、どうしようとするものか。
答 「炭酸ナトリウム過酸化水素付加物」で漂白剤・殺菌剤・消臭剤として使用する。

問 一般家庭で使用するのか。
答 許可300kgなので業務用。現在北広島町には該当しない。

火災予防条例の改正

提出議案審査結果と各議員の賛否

議案名	議員名																審議結果				
	藤堂	蔵升	梅尾	田村	美濃	室坂	浜田	真倉	久茂谷	藤井	中村	日山	大下	箕牧	宮本	亀岡		中田	大林	伊藤	
専決処分の承認 税条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
専決処分の承認 国民健康保険税条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
課設置条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町営若者定住促進住宅条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
印鑑条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
手数料条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
火災予防条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度 電気事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
芸北小学校校舎等改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
きたひろネット工事の遅れによる損害賠償請求事件の和解	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※加計議長は採決に加わりません

6月定例会

●北広島町税条例の一部を改正する条例

反対討論

賛成討論

美濃孝二

中田節雄

この条例改正には、固定資産税評価額の大幅な引き上げによる急激な上昇を抑えるための激変緩和措置の廃止が含まれている。そのため住宅用地の固定資産税は納税義務者の6割以上、4693人の方が負担増となる。いま北広島町の一世帯あたりの年間所得は年々減少を続け、暮らしの厳しさは増すばかりであり、年々増える固定資産税は重い負担となっている。よって税条例の一部改正について反対する。

この条例改正は、上位法の改正にともなうもので、当然地方自治体も追従しなければならぬ。

固定資産税の住宅用地の据え置き特例の廃止は、本来課税されている土地と、据え置かれていない土地との間で不均衡を生じており、税の公平性を確保するものである。経過措置も盛り込まれていることから賛成討論とする。



7月臨時議会

反対討論
賛成討論

芸北小学校校舎等
改修工事請負契約の締結



きたひろネット工事の遅れによる
損害賠償請求事件の和解

7月5日、臨時議会が開かれ、2議案が提出された。

「芸北小学校校舎等の改修工事の請負契約の締結(94,395千円)」は全員が賛成。

「きたひろネットの損害賠償請求事件の和解について」は賛成11名、反対8名で採択された。反対討論、賛成討論の概要は以下のとおり。

●損害賠償請求事件の和解について

反対討論

大林正行

財源組み換えによる5747万円の差額は必要経費と主張するが、これは明らかに不必要

な経費であり町民にとって損害金である。また、100%業者の責任であるのなら訴訟を起こすべきである。できないのであれば、町側も責任を認め、責任の所

在を明確にした上で和解案を提出するべきである。

賛成討論

中田節雄

情報基盤整備事業は、かつて取り組んだことのない大型事業であり、担当課は大変な苦勞を、きたひろネットの開局、テレビの難視聴地域も解消している。困難な事業であるが故に、幾多の問題や課題もあるが、問題を引きずるよりも、解決できる問題は早急に解決し、次のまちづくりに取り組みすべきであり賛成討論とする。

反対討論

美濃孝二

○町負担が約5700万円増えたことは事実であり、「和解」で町民に負担が押し付けられる。

○業者との協議文書では、「家を建てるときに地主が土地を確保しなければ施工業者は家を建てられないのと同じ」「不許可柱への共架が強要され、その復旧も遅れた原因」「間に合わないと言っても聞いてもらえない」など主張。協議文書を議会に提出せず幕を引くことは認められない。

○「全て業者の責任」といいながら、「裁判に勝つても過失責任が発生し、業者に払わなければならないから裁判はしない」というが責任逃れの詭弁であり、町に責任があったことは明らか。

○今後、明らかになった事実に基づき調査する責任が議会にある。

16議員が町政について問う

どうなる？ 私たちの町づくり



箕牧 智之

問

豊平地域小学校統合後の建物、跡地は

答

地元としっかり協議して進める

問

学校統合は一つの歴史に幕を閉じることになる。現在使われている備品、記念樹等はどうするか。地元では建物、跡地について心配している。地元の要望に沿った施策を講じるべきと考え、担当部局の考えは。

答

町長 来年4月、統合して豊平小学校が誕生する。地域の伝統、文化の拠点がなくなることは淋しいが次代を担う子どものために進める。跡地、建物については、企画課、支所で協議を進めている。たかさんの案を用意して新

問

豊平地域小学校統合後の建物、跡地は

答

地元としっかり協議して進める

しい地域づくりの拠点となるよう考えたい。

平和教育の

取り組みは

問

人類史上初めて使われた広島長崎の原子爆弾は熱線放射線で多くの人間の命を奪った。67年も前の出来ごとではあるが、全国の子どもたちが広島を訪れて平和学習をしている。北広島町の小学校、中学校での平和教育の中心を問う。

答

教育長 年齢、発達段階に応じて実施。町内全校で戦争の悲



→豊平の小学校

問

全国の生活保護費受給者は、210万人（国民の1.9%）、不正受給者件数は2万5000件で生活保護制度への不公平感が高まり、問題になっている。北広島町における生活保護の実態及びその給付は適正に行われているか。

答

福祉課長 ①受給者は99世帯150人（町民の0.75%）平成20年リーマン・ショック以降3年間に20世帯増えこの1年は横ばい状況。②年間扶助費は1億7850万円で医療扶助が53%と多く、生活扶助33.5% 住宅



藤井 勝丸

問

生活保護（扶助）は適正に行われているか

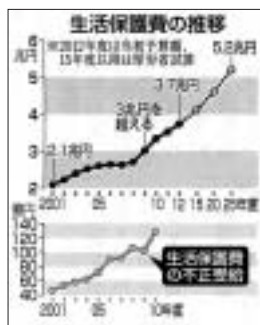
答

生活指導、自立支援に努め不正受給者がいないよう適正に行う

扶助9.6%。③受給対象者は高齢者36%で増加傾向にある。傷病・障害者27% 母子家庭9% その他28%

答

建設課長 ①国道433号舞綱（未改良720m）工事継続中 平成26年完了予定。川戸口（200m）地権者と交渉中 渋里は要望しているが計画は進んでいない。②主要地方道川井地区（1km）工事中で40%完了。③畑地区、H22年～24年 局部改良を継続の予定。◎「大型車通行困難」表示のある渋里地区の大型通学バス運行は問題ない。バス路線については安全性を最優先に効率性も求め継続して検討する。



問

主要道路の改良計画と巡回バス路線の変更を問う

建設課長 ①国道433号舞綱（未改良720m）工事継続中 平成26年完了予定。川戸口（200m）地権者と交渉中 渋里は要望しているが計画は進んでいない。②主要地方道川井地区（1km）工事中で40%完了。③畑地区、H22年～24年 局部改良を継続の予定。◎「大型車通行困難」表示のある渋里地区の大型通学バス運行は問題ない。バス路線については安全性を最優先に効率性も求め継続して検討する。



大林 正行

問 きたひろネット 4億円問題のその後は

答 損害金を請求せず和解したい

問 工程管理会議の議事録は提出するか。

副町長 未確認のメモはあるが、双方が確認した正式な議事録はない。

問 工事遅延で被った損害金はいくらか。

町長 4億円は、新たに22年度の事業として合併特例債の適用を受け事業執行上は回復したので法的に請求できる損害金はない。

問 和解は工事遅延の責任の一端を町が認めるということか。

町長 お互いの主張が平行線でありケリがつかないので、お互いの主張はすまいというところで調整、協議が整ったということだ。

問 町の損害は7千万円以上と思うが誰が責任をとるのか。

町長 事業を完成させ予定通りサービスを提供したので、責任問題については考えていない。

問 町に一切の責任がないのなら、和解せずに裁判を起すべきだ。

町長 裁判は町の責任が20%という判決

になる可能性もあるので裁判の特質を巡って一定の判断をした。

問 和解するには町議会の承認は必要か。

町長 議会の承認が必要であり議案として提出する。

子宮頸がん等予防ワクチン摂取助成政策は

問 国の交付金が廃止される25年度以降も無料接種を継続するか。

保健課長 重要な事業ととらえ国等の方針を参考に前向きな気持ちを持って検討する。



亀岡 章治

問 町民の意思を尊重し町の身の丈に合った道の駅整備を求める

答 農業と観光振興の拠点としたい、伝統芸能と食を資源に

問 道の駅第2期整備事業が町広報で公表されて以来、「高価で巨大な太鼓は必要ない。舞台付きレストランは経営的に不可能だ」など厳しい町民の批判はふくらむばかりだ。豪勢な整備計画を改め、町民の納得できる町の身の丈に合った整備への見直しを求め見解を問う。

当初の整備工事費3億円が実施設計で5割増の4億4265万円になっている。当初の計画の予算で努力するべきだ。

答 産業課長 神楽や花田植等、郷土芸能を資源として、農業と観光の拠点としたい。

問 舞台付きレストランは集客の困難性が指摘されている。集客の対象は？ 来年7月オープンな

問 舞台装置・音響照明等超豪華設備は、培われてきた伝統芸能の継承・発展に不可欠な条件とは思えない。見直すべきだ。

答 産業課長 出演される関係団体の意見を参考にし、更にレベルの高い郷土芸能と質の高い食事を堪能してもらうためには、それに見合う舞台や設備が必要である。

答 産業課長 広島市内や県外から広島を訪れる客をターゲットとしている。生産者協議会を早急に組織化していく計画だ。



→現在の道の駅



中村 勝義

問

土地開発公社解散と
土地の活用策は

答

事業化予定地以外は
売却を進める

問

土地開発公社
所有の土地は事
業化されず塩漬け状態
となっており、このこ
とから解決に向けて過
去2回一般質問を行っ
た。それに対し道の駅
第2期整備事業にかか
る土地以外の残地は町
で買い取り、平成23年
度中に解散整理したい
との回答であった。そ
うして今定例会行政報
告で解散報告があった。
解散に至る精算事務処
理の経緯と今後の活用
策を問う。

答

企画課長

解散について
県知事より24年2月1
日認可を受け、3月13
日から5月15日まで官
報に債権の申し立ての
公告をした。その後残

問

余財産は北広島町へ帰
属させる旨承認された。
6月5日広島県知事へ
清算結了の届出を行い
解散手続きを終了した。
町道寺原線用地は町保
有とし、旧雇用促進住
宅建設予定地は処分用
地として売却に向けて
進めていく。

答

産業課長

本年度水稲作
付状況、転作作物の作
付状況は次の通りであ
る。

水稲作付面積 ha	
芸北地域	414
大朝地域	380
千代田地域	797
豊平地域	486
合計	2,077

問

どう取り組むのか
人と農地

高齢化や後継
者不足、耕作放
棄地の増加等で5年後、
10年後の展望が描けな
い集落や地域が増えて
いる。人と農地の問題
解決と本年度水稲作付
状況、転作作物の作付
状況は。

不作地 ha		転作作物 ha		水稲作付面積 ha	
調整水田	28	麦	64	芸北地域	414
自己保全地	278	大豆	34	大朝地域	380
耕作放棄地	98	米粉用米	57	千代田地域	797
		飼料作物	110	豊平地域	486
		飼料用稲	48	合計	2,077
		そば	60		
		トマト	21		
		キャベツ	11		

問

ゆうあいネッ
ト柱の撤去工事
について、撤去方法、
柱の処分の具体策を早
く町民に周知するべき
ではないか。



中田 節雄

答

きたひろネッ
トセンター次長

抜柱後は、同じ土で
埋め戻し、鋼管柱とコ
ンクリート柱について
は、地域での利活用を
目的としたものについ
ては譲渡する。行政区
長に要望を取りまとめ
て頂き、その具体的
な方法については、区
長文書、広報等を通じ
て徹底していく。

問

壬生の花田植
は、世界文化遺
産に登録されて、初め
ての海外公演であり、

問

ゆうあいネット柱撤去の
具体策は

答

11月から撤去に入るが、
概要は広報等で周知

是非とも成功させ、日
本の田園文化を紹介し、
立派な成果を挙げて欲
しいと願っていた。し
かし、役場正面玄関前
での出発式が、
町職員をはじめ
一般の人達の見
送りで、他の来
庁者が庁舎に入
れない状況であ
ったようだ。配慮
が足りなかった
のではないか。

答

教育長

出発式
を行う場所とし
て、役場正面玄
関前は、最も良
い場所と思っ
たが、出発式の
間来庁者の
出入りが難し
い状況にな
ったことにつ
いては配慮が
足りなかった。



→ 壬生の花田植



宮本 裕之

問

空き家情報バンク登録の推進は

答

税制面も含め有効な対策を検討

問

空き家情報バンク制度に今まで何件の応募があり、何家族、何人が本町に定住されたのか。現在の空き家提供者と空き家バンク希望者の件数を聞く。空き家は町内に多く見受けられるが、提供しない理由を調査したことはあるのか。提供者に対し、固定資産税を免除するといったメリットを与える考えはないか。

答

企画課長

平成18年制度発足から、この制度を利用したいと申込みされた方は325件、その内52世帯130人が定住されている。子どもと定住された方は9世帯



→空き家

41人である。現在の希望登録件数は13件希望者は244件である。

空き家を提供しない理由は、盆や正月に帰省した時、利用したい、家財の処分ができない等の理由を聞いている。固定資産税の免除については、有効な側面があれば検討していく。

問

「交通死亡事故0宣言」で交通安全の啓発を

答

交通死亡事故は被害者も加害者も計り知れない悲しみを受けることになる。本町も合併後14人の尊い命が失われている。交通安全の啓発を、県警本部、交通安全協会、行政と一体となって取り組むべきと考えるが。

問

交通死亡事故は被害者も加害者も計り知れない悲しみを受けることになる。本町も合併後14人の尊い命が失われている。交通安全の啓発を、県警本部、交通安全協会、行政と一体となって取り組むべきと考えるが。

答

総務課長

本町の交通事故及び死亡事故件数は非常に高い率であり、今後、交通パトロールや、きたひろネットを通じ安全啓発に努めていく。



真倉 和之

問

学校教育目標の体育授業の充実を問う

答

目的意識を明確に持たせ取り組んでいる

問

今年度の学校教育目標は「体・徳・知」の基礎基本で大きな夢をと設定され取り組まれているが、北広島町の子どもの体力の現状と、体力向上に向けた具体的な取り組みを問う。

答

教育長

小・中学校の児童生徒が対象となっている。平成23年度北広島児童・生徒の体力運動能力調査結果と、北広島町の子どもの体力の現状は全学年の8種目中、男子は72%、女子は69%が全国平均を上回っている。全体的な課題は「握力」、年齢が上がるにつれ「柔軟性」に課題があり、男女別に見ると中



→豊平南小学校運動会



室坂 光治

問

元千代田高校豊平分校の跡地利用を問う

答

有効な利活用を 県に働きかける

問 元豊平分校は平成17年3月に廃校となった。廃校の話が出てからは地元住民により存続を求め、関係機関へ強く訴えて来ている。廃校後地元には一つの灯りが消えたままである。所有は県で、町として何らかの再利用は考えられないだろうか。分校跡地へのメガソーラ企画は、町に打診があつたのか。千代田工業流通団地のメガソーラ計画もメガソーラが無理ならグラウンドゴルフ等の利用は考えられないか問う。

答

企画課長

分校跡地へのメガソーラ計画は、町への動きはないが、今後そのことにより引き

合いが予想される。千代田工業流通団地のメガソーラ計画については、設備用敷地としても活用できる定期借地制度を新設したので、具体的な立地に向け企業と県と協議を行つてるところだ。今後跡地をどのようになりに活用していくのか町としても大きなテーマであること認識しており、北広島町の将来に向けて前向きな展望が



→廃校となった元豊平分校

問

住民サービスのできる環境か

答

誇りのもてる 北広島町をつくる



梅尾 泰文

問 合併して、町の職員も多く退職している。一般職員で101人退職し、25人就職し、差し引き76人減つたことになる。さらに病欠休暇者も20人あつたと聞く。臨時職員の数と待遇、そして障害者雇用はどうか。

答

総務課長

80人は正規職員、4分の3の勤務をしている。賃金は1日、



←本庁役場窓口

合併して、町の職員も多く退職している。一般職員で101人退職し、25人就職し、差し引き76人減つたことになる。さらに病欠休暇者も20人あつたと聞く。臨時職員の数と待遇、そして障害者雇用はどうか。

答

企画課長

町政懇談会は昨年4会場161人來られ、地域協議会や区

長会で回答している。

問

待たずに退職した職員が74%いるが原因は何か。千代田地域の有志の議員で一昨年、昨年と「地域の声を聞く会」ということで地区をまわり多くの声をお聞きした。まとめて町長にそれを提出したが回答がないがどうか。

答

町長

公務員としてやりがいい、誇りの持てる北広島町をめざしていく。提出されたものに文書で回答するということ、町長と議員の関係にない。



美濃 孝二

問

見通しのない「道の駅」建設は白紙に戻し再検討を

答

舞ロードの収支だけで物事を判断していない

問

3億円が4億5千万円と道の駅建設費用が雪だるま式に増え、採算の根拠も示されていない。赤字になったら誰が責任をとるのか。

答

いま収支の見通しを立てて事業を推進していくため練りに練っているところ。

問

増額分1億5000万円が町民の負担にならないか。

答

一般財源が5246万円（昨年6月比）、過疎債が5900万円増える。

問

入札直前だが採算の見通しがない。いったん白紙に

戻せ。

答

町長 舞ロードの収支だけで物事を判断していない。

未解決問題を問う

問

12億円を投じた千代田工業流通団地に企業誘致されない責任は。

答

町長 引き続きインフラ整備し誘致をすすめることが私の責任。

問

きたひろネット4億円問題の「和解」は町にも責任があったからではないか。

答

町長 町に責任はない。

問

有岡谷の悪臭問題が未だに解決しておらず、法的措置を急げ。

答

町民課長 臭気測定値がオーバーしていれば改善勧告を行う。

問

低空飛行監視のための騒音測定器設置は。

答

総務課長 今週中に浜田市の旭支所を見学する。



↑緑の広場から見た「道の駅」イメージ

問

最近老友会への出席が少なくなった原因は、自動車の運転をしない（自ら・家族に進められて）会員が多くなり同乗していた会員も出席できなかったためと聞く。対策を問う。

答

福祉課長 運転のことも考え「魅力ある会とは」のテーマで一回目の会議をおこなった。

問

障害福祉で親が高齢になった時、子どもの入所は平成25年から始まると3月議会の答弁であったが、親は子と入所出来ないかと考えておられる方もある。考えは。

答

福祉課長 現在は自立支



濱田 芳晴

問

少子、高齢化対策を再度聞く

答

婚活の計画支援をします

援が中心で施設が無いが、問題点とし国に要望をしていく。

問

なかなか結婚できない人が多く、商工会青年・女性部が婚活を計画している。私も農業委員の時企画し、町民の方も何度か計画されている。10年の長いスパンで考え支援をしていく必要があると思うが考えを問う。

答

企画課長 今回の企画に支援を検討する。

問

1日町長室にも女性の方が出会う機会が少ないと相談をされている。考えは。

答

問

県道40号線で広島市地域の国土調査が出来ず改良が出来ない区間がある。3月の予算委員会で質問したが、以後の対応は。

答

建設課長 国土調査は問題があり休止中。重要な路線であり、引き続き広島市と県に早期整備を要望していく。



↑県道40号線



伊藤 久幸

問

さらなる人口増進計画を

答

着実にオーソドックスに
危機感を持ち対策を進める

問

人口減は、町の活力を減退させる深刻な問題になりかねない。今までの上の打開策を提言する。子育て支援、出生率の低下の主要因は経済的不安にある。高校卒業まで医療費無料、保育所第2子以後同時期入所だけでなくも無料、芸北・豊平で実施の若者定住促進住宅建築に今後の計画はあるか。新規定定住促進対策建築費補助と新規Uターン者空家改修補助を100万円にし町内業者との契約に限定してはどうか。婚活支援を商工会青年部が実施予定。来年度継続支援、マスコミを利用した本町のアピールは考えられないか。

答

町民課長
高卒までの医療費無料化は、総合的にバランスをはかり新たに生じる財政負担を勘案し、いろいろな角度から検討する。

答

福祉課長
保育料無料化は、他の子育てにかかる施策等を総合的に考え、施策の重点化も考慮しながら慎重に考える。

答

企画課長
定住施策は重要な問題、総合的に検討し判断する。青年部活動支援は継続的に支援、実施主体と協力して対応していく。



→芸北地区の若者定住促進住宅

答

町長
働く場所、生活の糧、暮し全体の考え方を持つて進める。本町としては着実にオーソドックスに、しかし切迫した高齢化、人口問題に対する危機感を持ちこころした対策を進める。



大下 正則

問

北広島町障害者プランについて

答

地域自立支援協議会で
計画の進捗状況を検証している

問

北広島町の障害者プランは、平成21年度、だれもが自分らしく共に安心して暮らせる町を目的に「障害者福祉計画」と「障害福祉計画」が策定されたが、このプランの現状と進捗状況、また、どのような効果があったかを問う。

答

福祉課長
①地相談制度の充実を図っている。各地域で相談会の開催、専門相談員を設置、外出時の移動支援、また

答

広報等を利用し障害者の正しい理解の啓発。
②補装具、車椅子等暮らしにおける支援。平成25年度より法人であるがグループホーム等新規施設の設置により大きく進展した点。
③就労相談等で同行支援など行っている。障害者雇用、就労はハローワークと連携を取って働きかけを行い、雇用の安定を図っている。関係団体と連携を深め今後の支援につなげたい。
④災害時要援護者避難



←本庁前の思いやり駐車場



日山 静樹

問

児童、生徒の登下校時の安全対策、通学路について問う

答

関係者による危険箇所の合同点検等実施中である

問

①事故を未然に防ぐための対策づくりは。
②調査・安全点検は誰が主体となって行っているか。

③事故を未然に防ぐため、児童・保護者・教員が「通学路を歩こう安全安心探検隊」等をつくり危険場所の確認が必要では。
④110番の家の場所の確認と周知方法は。
⑤児童が助けを求めて来た時の対応マニュアル、情報交換会は。

答

学校教育課長

①週に1〜2回、教職員・保護者・見守り隊により登下校時の随行を実施している。また警察による交通安全教室を行っている。

る。

②学校・PTAが通学指導を行ない、見守り隊の報告を含めて情報共有している。学校・道路管理者・警察で現在通学路の安全確保のため再度点検を行っている。

⑤北広島町子ども安全プロジェクトチームでマニュアルを作成している。110番の家との情報交換会はおこなっていないが、青少年育成協議会やPTA間では防犯についての情報交換を行っている。

③PTAや学校の校区単位で危険箇所の調査をしている。青少年育成協議会・防犯組合・地域協議会等の組織が危険箇所についての情報共有が必要と考える。
④ステッカー及びカラーコーンを玄関先に掲示。保護者にはPTA総会時に、児童には通学班ごとに周知確認を行っている。



→通学風景

問

高齢化や核家族化が急速に進みつつある本町において、救急搬送の件数は年々増加の傾向にある。救急隊が到着して、先ず把握したいことがいくつかあると思う。

・親族の構成
・かかりつけの医療機関
・本人の年齢
・病歴
・持病の有無
・常用している薬など
本人との会話が可能であったり、家族が居合わせた場合は問題ないが、そうでない場合に

より迅速に、よりの確に状況把握ができるよう、必要な情報を決められた容器に入れ、決められた場所に保管しておき、万が一の際に



田村 忠紘

問

急患搬送時の的確な判断と迅速化のためキット導入を

答

キット導入は課題が多い

救急隊員がそれを参考に次の行動に移るとい

うものである。キット導入は行政が取り組む課題と思うが。



答

消防長

救急搬送は増加し、昨年は初めて1千件を超えた。

県内ではキットを導入している市町はあるが、ほとんど市長、町長部局や自主防災組織が行っている。

キット内容が定期的更新されているか等の諸課題が多い。当町としては、必要性は感じていない。

日中国交正常化40周年記念事業

「広島神楽中国公演」報告

経緯

1972年9月、日本の田中首相と中国の周恩来首相が、「日中共同声明」に署名して

から、両国は様々な分野での交流を積み重ねてきた。

そして昨年12月日中

首脳会議で、両首脳は日中両国民の友好の絆を一層深めるため、「新たな出会い、心の絆」というキャッチフレーズのもと、今年を「日中国民交流友好年」とすることを一致した。

経団連会長）より、「日中国交正常化40周年記念行事」の趣旨にふさわしい事業として認定され実現した。

概要

日本の伝統芸能である「神楽」の中国公演による日中両国民の交流・相互理解の増進に寄与するため、広島町の神楽団による「広島神楽団」を結成し、6月25日に北京市・同27日に大連市での公演を行なった。

いずれの公演も多くの観客を呼ぶことが出来た。特に高校生や大学生など若い人たちが多く、感動を与え大変な反響を得た。

言葉（セリフ）は通じなくても、神楽の素晴

らしさが伝わったこと、文化交流による「心の絆」の構築が可能なことを痛感した。

日中国交正常化以来、

多くの文化交流が実施されてきているが、今回の神楽公演は、両国の友好親善に大きな足跡を残すことができた。

五月連休明けに結成され猛練習を積み重ねてこられた「広島神楽

団」のメンバーの皆さんに改めて感謝の意を表します。

北京公演を終えて



▶6月29日付「大連日報」の第一面

これを受け、今回の「広島神楽中国公演」は「日中国民交流友好年」実行委員会（委員長 米倉弘昌 日本

▼大連公演の開場を待つ高校生



◀神楽公演を見に来た北京外語大学の生徒たち



訪問団による交流拡大の取組み

北京市・大連市において、中国側の政府関係者、教育関係者との懇談を行い、訪日観光・教育旅行誘致・中小企業の交流拡大を図る事を目的に、北広島町・北広島町議会・NPO 法人世界関係者により、神楽公演とは別途の交流及び視察をおこなった。



▶中国国際交流協会 李成仁副会長との会見

6月25日(北京市)
 ・東城区ソウ苑社区(コミュニティー)
 施設の視察・自治組織等について懇談
 ・中国国際交流協会 李成仁副会長他三名と会見、歓迎レセプション
 神楽公演・友好交流について懇談
 6月26日(大連市)
 ・大連市対外貿易経済合作局 雀鐵副局長他2名と会見
 中小企業の進出及び交流促進を要望
 ・大連市人民政府 曹愛華副市長他4名と会見、副市長主催夕食会
 神楽公演・友好交流について懇談
 6月27日(大連市)



・大連市観光局 王舒岩副局長他2名と会見
 観光交流について懇談、王氏は観光で広島にも来られたことがあり、40周年を起点に民間交流(農村交流)の促進を図りたいと表明された。
 ・大連市教育局 趙玉實副局長他3名と会見
 教育交流について懇談、国際交流教育所副所長(青少年交流担当) ▲大連市教育局での会見

も同席で、本町との交流に関心を持たれた。
 ・大連大学 宋協毅副学長他教授4名
 (日本語学科生徒21名も同席)と会見
 神楽文化等日本文化について懇談・大
 学視察
 6月28日
 ・神楽団員・訪問団員全員での旅順観光
 「坂の上の雲」の放映場面を思い起こし、歴史認識を深めることができた。
 ・大連市での答礼宴
 広島に最も近い人口600万人の大連市、お礼と今後の交流促進を確認する会にもなった。



◀大連大学資料館玄関 歓迎の電光掲示板

日中国交正常化40周年記念事業参加者(総勢40名)

- ・NPO法人世界 中田選理事長 他3名
- ・北広島町訪問団 竹下町長、企画課長 加計議長、藤堂副議長、藤井・室坂・蔵 升議員
- ・広島神楽団 20名
- ・神楽公演舞台等スタッフ 9名

意見書提出(議員提案)

地方財政の充実・強化を求める意見書

1、被災自治体に対する復興費は、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう施策を講ずること。また、復旧・復興に要する地方負担分は、通常の予算とは別に計上すること。

2、医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、少子・高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する

財政需要を的確に取り入れ、2013年度地方財政計画を策定すること。

3、地方財源の充実・強化をはかるため、地方交付税の総額確保など、抜本的な対策を進めること。

【提出先】

内閣総理大臣 内閣官房長官
総務大臣 財務大臣 内閣府
特命担当大臣(経済財政政策担当) 経済産業大臣

地域の安全・安心を守り、住民本位の公共事業を推進するため、地方建設業界の安定的な維持を求める意見書

1、地方の建設業界は、災害発生時に被災者の救出のためインフラ確保や復旧の重要な役割を果たしているとともに、地域経済、雇用の場として重要な産業でもあるので、安定的な維持ができるような施策を行うこと。

害・土砂災害・雪害等の防災及び住民本位の生活関連にともなう河川・道路・港湾等の整備、維持管理に重点配分すること。

【提出先】

内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣 国土交通大臣
経済産業大臣

オスプレイの岩国基地への搬入及び飛行訓練に反対する意見書

危険極まりないオスプレイの米軍岩国基地への搬入及び飛行訓練の撤回を強く求める。

【提出先】

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣

原爆「黒い雨」指定地域の拡大を求める意見書

広島県と広島市が調査を行い、広島原爆「黒い雨」は国指定地域の約6倍の範囲に降り、未指定地域住民は「被爆者に匹敵する健康不良状態」との結果が報告された。しかし厚労省が設置した「検討会」の報告書案は、「更なる調査を行う意義は低いと考えられる」と長年の被害者の願いを切り捨てるものになっている。

「検討会」は結論を急がず、厚生労働大臣は、広島県と広島市の調査報告に答えて必要な補足調査を早急に行い、全ての降雨域を第1種健康診断受診者証交付地域に指定することを求める。

【提出先】

厚生労働大臣 「原爆体験者等健康意識調査報告書」等に関する検討会座長

大飯原発再稼働方針の撤回を求める意見書

政府は世論を尊重して、国民の安全を考え、大飯原発の再稼働を取りやめ、自然エネルギー政策へ転換するよう強く要請する。

【提出先】

内閣総理大臣 総務大臣 経済産業大臣 内閣府特命大臣(原子力行政)



米海兵隊岩国基地に陸揚げされ、主翼とプロペラを広げたMV22オスプレイ=7月23日(米海兵隊ウェブサイトから)

がんばっています！



大朝小学校 (83名)

大朝小学校には地域の方々の協力を得て学ぶ「菜の花学習」が定着しています。三年生から六年生までの四年間、菜の花を核に系統的に学習を積み重ねていきます。

まず、菜の花を育て、その種で搾油をします。使用後の油はBDF燃料の原料となり、スクールバスの燃料としても有効利用されています。児童は、BDF燃料作りの学習や、家庭の廃食油回収を行い、資源循環リサイクル活動にも参加しています。また、菜の花を緑肥としてすきこんだ田んぼで「びゅあ菜米」作りを行い、収穫した「びゅあ菜米」

を広島市内で販売する体験も行っていきます。今年度はこの一連の体験学習を各学年のPTC活動でも行い、保護者の方々も「菜の花学習」について学び、地域の方々や児童とふれあうよい場となっています。



▶菜の花の刈り取り

八幡小学校 (16名)

「『体・徳・知』の基礎基本で、大きな夢を！」と「『やわたの心』でがんばる」を合言葉に全校児童で、伝統ある八幡小学校の有終の美を飾るようがんばっています。

【健康な体・たくましい体力づくり】
体力づくりとして、業間体育でマラソン、トレーニングタイムで夏季は一輪車・縄跳び、冬季はクロスカントリースキーに取り組んでいます。

【豊かな心の育成】
あいさつ・返事日本一をめざして、児童会活動を中心にがんばっています。大きな声が校庭に響き、地域の方からもほめていただいています。またオペレッタ「カキツバタの里やわた」や八幡地域に



▲総合学習の発表を行う児童

住む両生類について、調べる総合的な学習の時間、生活科の学習を行ない、郷土を愛する豊かな心を育てています。

【自ら学ぶ、確かな学力の育成】
思考力・表現力・判断力を伸ばす目的で国語科の研究をすすめて、書く力推敲(たいてい)チェックシートを作成し書く力を伸ばしています。

八幡小学校の学校目標である「郷土を愛し、自ら考え、主体的に行動できる児童」をめざし、全校児童16名と全教職員でがんばっています。

グループ紹介



「広島北リトル」



広島北リトルシニアリーグは1983年に広島県内5番目として創立された中学生の硬式野球チームです。

お陰さまで、喜ばしくも来年度には30周年を迎えることができます。

また、北広島町本
地（広島北シニア
グラウンド・友鉄工
業(株)所有）のこの
地でお世話になっ
て、早いもので20
有余年になりました。

この間、中学生
という多感な青春
時代に野球を通し
てスポーツマン精
神を培い、組織の
中での自分の役割
を認識しながら競
争意識と耐える力
を養って立派に卒
団したおよそ25
0名は、学生・社
会人として各方面
で素晴らしい活躍
をしております。

現在は「北広島町から
全国へ」を掲げ28名の選
手が北広島町をはじめ安
佐北区、中区、西区、廿
日市市遠くは江田島市か

ら北広島町本地に集まり、
主に土・日・祝日と厳し
い練習に励んでおります。
昨年12月にはその成果
ともいえる「野村謙二郎
カップ」優勝に始まり、
今夏には2012年度日
本選手権関西連盟中国支
部大会（19チーム予選）
においても優勝しました。
その結果、8月1日から
行われる中学生の甲子園
ともいえる憧れの神宮球
場を主会場とした「20
12年度第40回日本リト
ルシニア野球選手権大会・
リトルシニア野球創立40
周年記念大会」に栄えあ
る中国支部代表として出
場します。

選手たちもそれに応え
るべく心技体日々精進を
続けております。もちろ
ん、関係者一同もこのた
びの快挙を祝福するとと
もに、本大会では「最後
の一球まで諦めない広島
北魂」を発揮してくれる
ものと期待しております。
広島北リトルシニア
事務局長 元木仁志

表紙の写真 北広島町 交流保育事業



「第8回北広島町交流
保育事業」が6月29日、
豊平総合運動公園体育館
において開かれました。
これは、町内の保育所園・
こども園の年長児が集まり、
ふれあい交流を行うもので、
今年度は体操教室とマイウ
ちわづくりを行いました。
お昼は、班ごとに、持
参したお弁当を食べます。
この頃になると、他の保
育所のお友達とも打ち解け、
仲良くなってお別れです。
小学校でまた会えるかな。

編集後記

6月議会2日目の14日、
各常任委員会の最中、「ア
メリカのフロリダ州で新
型輸送機オスプレイが墜
落」との第一報が入る。
11日にはオスプレイを米
軍岩国基地に陸揚げし組
み立て、試験飛行するこ
とが公表され、13日には
全国で低空飛行訓練を行
うことが明らかとなつた
ばかりである。

北広島町は米軍の低空
飛行訓練に脅かされてお
り、オスプレイが配備さ
ればさらに危険が増す。
そのため今議会で「オス
プレイの搬入と飛行訓練
に反対する」意見書を国
に提出した。

議会は町民の意見を的
確に受け止め、機敏に発
信する役目があり、引き
続きその役目を果たすた
め力をつくす決意である。